

# 人為ミス未然防止法

～6つのノウハウとすぐに使える10のヒント～



「覚えにくい」「やりにくい」「イライラする」「疲れやすい」「わかりにくい」「複雑すぎる」といったものが、あいまいさの多い作業の代表的なものです。熟練者にとってはあたり前のことでも、初心者にはあいまいなことだらけです。このあいまいさの概念を理解すると、人為ミス対策はとても楽になります。

## セミナープログラム(10:00～16:00)

<p>1. なぜ人為ミスは発生するのか</p> <p>(1) 誰にも弱点がある</p> <p>(2) 人為ミスは2つの原因が絡み合って発生しやすい</p> <p>(3) 人為ミス発生の関連図</p> <p>2. すぐに使える10のヒント</p> <p>(1) 危険因子対策</p> <p>(2) 作業リズムの崩れ対策</p> <p>(3) 個人判断対策</p> <p>(4) 未熟練対策</p> <p>3. 人為ミスを減らす6つのノウハウ</p> <p>(1) 未然防止型日常管理 A-KOMIK</p> <p>(2) A-KOMIKのめざす姿と基本スキル</p> <p>(3) A-KOMIKステップ別ポイント解説</p>	<p>[A] あいまいさを見つけるポイント</p> <p>[K] 決めごとを決めるポイント</p> <p>[O] 決めごとを教えるポイント</p> <p>[M] 決めごとを守らせるポイント</p> <p>[I] 異常の発見と処置のポイント</p> <p>[K] よりよい決めごとに改善するポイント</p> <p>4. 作業要領書の作成(演習)</p> <p>～ 現在使用中の標準類を、初心者にわかり・やれる標準類に修正・改良する実務演習 ～</p> <p>(1) 作業分解シートの作成</p> <p>(2) 暗黙知の形式知化</p> <p>6. 質疑応答</p>
--	---

管理監督者の側から見れば作業の標準類は良くできていると考えがちですが、実際に作業をする立場の側からすると、あいまいでわかりにくいことが多く、ストレスを抱えながら作業しているという声が聞こえてきます。とくに初心者クラスになればなおさらです。

判断や確認の基準がはっきりしていない、熟練者の暗黙知が伝承されていない、身体能力を超えた作業負荷が連続する、作業リズムを崩される出来事が起こりやすい、など、人為ミスを引き起こしやすい現象がいたるところにあるためと思われます。

これらの現象を取り除くことが未然防止活動です。  
未然防止活動を実施すると、職場のコミュニケーションも活発になります。  
**未然防止活動のための新視点が6つあり、すぐに使えるヒントが10あります。**一度お試しください。

### 本セミナーの対象者

人為ミス未然防止の実践ノウハウを学びたい方、作業する人にとっての“あいまいさ”のを見つけ方と手の打ち方を学びたい方、改善活動の新視点をお考えの方 などにとくにお勧めします。

演習で使用しますので、現在使用中の標準類(作業手順書など)をできるだけご持参ください。  
なお、ご持参いただいた標準類は、講師をはじめ他の受講者に見せたり、発表したりすることはございませんので、念のため申し添えます。